

出雲市水道事業 基本計画について

出雲市水道事業は、全体構想である出雲市水道事業ビジョンを平成30年9月に策定し、水道事業ビジョンで掲げた実現方策を実施する投資的事業について、全体計画である出雲市水道事業基本計画を策定しました。

計画期間	平成30年度(2018)～平成39年度(2027)の10年間
総事業費	約143億円
※支障移転工事等の工事負担金分15億円を除く	

【主な取組】

1. 「安全」・・・安全でおいしい水をとどけます

- | | |
|---|--------|
| ① 安定的な水量の確保 | 6. 3億円 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 来原系水源開発
 水源調査・開発に伴う整備 $V=10,000 \text{ m}^3$ ・ 県用水受水施設（県用水受水点～愛宕山配水池）
 送水管 $L=2.8\text{km}$、電気・計装設備 1式 | |
| ② 水源の効率的運用と水の融通 | 7. 0億円 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 灘分・来原系連絡管（灘分浄水場～来原系給水区域）
 連絡管 $L=8.0 \text{ km}$ ・ 小規模水源の統廃合
 金山水源の廃止 : 送水管 $L=0.6\text{km}$
 多久谷畑水源の廃止 : 配水管 $L=0.3\text{km}$、加圧ポンプ所 1箇所 | |
| ③ 水質管理の強化 | 0. 2億円 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 水質自動監視施設（バイオアッセイ）
 灘分浄水場 1箇所 | |
| ④ 施設の安全管理 | 0. 4億円 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全施設
 防護フェンス : 灘分浄水場、上島水源地 $L=3.1\text{km}$
 監視カメラ : 向山配水池、愛宕山配水池 2箇所 | |

2. 「強靱」・・・災害に強い施設をつくり、しなやかな水道を実現します

⑤ 計画的な耐震化 37.1 億円

- ・ 向山配水池等再構築事業
向山配水池 $V=9,000 \text{ m}^3$ 、送・配水本管 $\phi 350\sim 700 \text{ mm}$ $L=2.2 \text{ km}$
- ・ 来原浄水場深井戸系浄水施設
原水調整槽、沈澱池、接触槽、ろ過ポンプ棟、ろ過施設
- ・ 基幹管路（灘分系：導・送・配水本管、来原浄水場内：導・送水管）
導水管 $\phi 300\sim 800 \text{ mm}$ 、送水管 $\phi 400\sim 500 \text{ mm}$ 、配水本管 $\phi 450 \text{ mm}$
計 $L=4.0 \text{ km}$
- ・ 新向山系配水本管（国道9号：姫原東交差点～渡橋北交差点）
配水本管 $\phi 600 \text{ mm}$ $L=1.9 \text{ km}$
- ・ 支障移転時の改良
耐震管による更新

⑥ 重要な給水施設への供給管路の早期耐震化 1.2 億円

- ・ 重要給水施設（病院・避難所等）への供給管路
県立中央病院 他 配水管 $L=2.5 \text{ km}$

⑦ 管路の計画的な更新 46.2 億円

- ・ 導水管・送水管・配水管（口径75mm以上）
導水管、送水管、配水管 $L=68.0 \text{ km}$

⑧ 構造物・設備の計画的な更新 6.6 億円

- ・ 灘分第3水源地
集水管、取水井、取水ポンプ（2台）、電気・計装設備
- ・ 浜ポンプ場
送水ポンプ（3台）、電気・計装設備

⑨ 災害対応力強化に向けた施設整備 1.9 億円

- ・ 自家発電設備 : 多伎浄水場、水道局
- ・ 増圧（加圧）設備 : 朝山ポンプ場付近
- ・ 管路の布設替（増口径） : 保知石ポンプ所付近 配水管 $L=0.8 \text{ km}$
- ・ 緊急遮断弁 : 浜山配水池、北山配水池
- ・ 緊急貯留槽 : 新体育館
- ・ 給水拠点施設 : 乙立浄水場

3. 「持続」・・・健全な供給基盤の確保と安定的な事業運営に努めます

⑩ 資産管理と更新費用の平準化 12.0億円

- ・設備・機器の更新
市内全域の浄水場やポンプ場等の設備・計装機器
- ・量水器の購入

⑪ 施設規模の適正化 12.9億円

- ・送・配水施設統廃合
 - 大社地域の小規模施設（ポンプ施設等7箇所）の廃止に伴う整備
配水管 L=2.4km
 - 稗原地域の小規模施設（ポンプ施設等2箇所）の廃止に伴う整備
配水管 L=0.9km
 - 上頭名（多伎）地域の送配水フローの変更
上頭名浄水場内：送水ポンプ1基増設、送水管 L=0.02km
- ・管路や構造物・設備
 - 配水本管（平田、大社地域）
配水本管 L=0.9km
 - 低水圧地域の増圧対策（平田、大社地域）
配水管、連絡管 L=3.2km
 - 高水圧地域の減圧、耐圧対策（稗原、窪田、多伎地域）
送水管、配水管 L=2.4km
 - 浄水方法の変更
乙立浄水場、大呂川上浄水場 2箇所
 - その他
その他の拡張・改良工事

⑫ 業務の効率化と事務事業の見直し 0.5億円

- ・水道施設台帳システム
マッピングシステムの統合と構造物・設備台帳の電子化